

各 位

武雄・杵島地区農業指導連絡協議会
杵島農業改良普及センター

「稲作情報（第8号）」について（送付）

このことについて、下記のとおり「稲作情報（第8号）」を送付しますので、業務の参考にしてください。この情報はホームページ（以下URL）にも随時公開しています
https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00323270/index.html

杵島農業改良普及センター

検索

1. 気象概況

アメダス観測値（白石）

月	半旬	平均気温			最高気温			最低気温			降水量			日照時間		
		平年 (°C)	R2 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R2 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R2 (°C)	平年差 (°C)	平年 (mm)	R2 (mm)	平年比 (%)	平年 (hr)	R2 (hr)	平年比 (%)
6月	1	21.3	23.2	1.9	27.6	28.1	0.5	16.1	18.4	2.3	25.4	0.0	0	29.5	28.4	96
	2	22.0	25.2	3.2	27.9	31.9	4.0	17.1	19.7	2.6	30.2	0.0	0	26.6	44.5	167
	3	22.6	25.5	2.9	27.9	27.6	-0.3	18.1	23.7	5.6	40.9	117.0	286	24.0	7.4	31
	4	23.2	23.0	-0.2	28.0	28.0	0.0	19.3	19.0	-0.3	57.8	65.0	112	21.2	20.7	98
	5	23.8	25.2	1.4	28.2	31.6	3.4	20.4	20.3	-0.1	76.2	83.0	109	17.6	44.0	250
	6	24.4	25.2	0.8	28.5	28.9	0.4	21.3	22.9	1.6	86.7	145.5	168	16.1	15.2	94

- 1) 6月6半旬は、平均気温は平年に比べ1 ほど高く推移した。22日から28日にかけて最高気温が30 を超える日が続いた。また、周期的な降雨により6半旬は寡照傾向で推移した。
- 2) 6月18日～19日にかけての降雨（65mm）、また24日夜半から25日にかけてまとまった降雨（84mm）、27日には豪雨（102.5mm）があった。

2. 情報田生育概況（調査日：7月1日）

項目 品種	年 次	草 丈 cm	茎数 本 / m ²	主 稈 出葉数 L	葉色 SPAD	概 要
夢しずく 武雄市橘町	本 年 値	32.1	123	6.5	34.4	・草丈は平年並み、茎数は少ない。 主稈出葉数は平年並み。 ・4葉分けつが発生。 スクミリンゴガイの被害により 茎数は少ない。
	平 年 値	32.2	147	6.6	34.7	
	平年比（差）	100	84	-0.1	-0.3	

平年比は、平坦部と平年値との差

(耕種概要)

品 種	年次	苗質		移植日 (月日)	栽植密度 (株 / m ²)	備 考
		苗丈	葉令			
夢しずく	本 年 値	15.7	3.2	6月14日	18.5	前作 大麦
	平 年 値	14.4	3.0	6月15日	18.4	-

3. 管内の生育状況（7月1日時点）

- 1) セタコシヒカリ：現在、出穂期～穂揃期となっている。
本年は早いところで6月26日出穂し、出穂盛期は6月28日～30日となった。
なお、情報田の出穂期は6月29日となった。平年に比べ1日早く、前年に比べ3日遅い。
- 2) 夢しずく：現在、分けつ盛期である。移植盛期は6月14日～16日頃となった。
- 3) さがびより：現在、分けつ盛期である。移植盛期は6月20日～23日頃となった。
- 4) その他特機事項
 - ・6月下旬の周期的な降雨により、4、5葉身が伸長し軟弱徒長ぎみになった。そのような圃場ではスクミリンゴガイによる食害や除草剤の薬害、流れ葉の発生が散見される。
 - ・夢しずくに関しては、移植後の度重なる豪雨により深水傾向となり、22日からの高温で除草剤の薬害が助長され、一部枯死した株も確認している。
 - ・麦わら（特に小麦）及び玉ねぎ残渣によるガス害も散見される。

3. 今後の管理

1) セタコシヒカリ

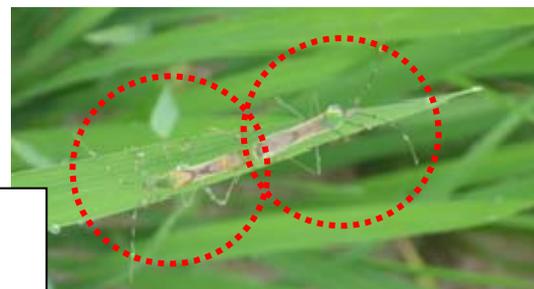
(1) 水管理

「コシヒカリ」は、出穂期～穂揃期です。積算温度による収穫適期予想は別紙を参照ください。
出穂期以後の水管理は、根への酸素供給を図るためにも常時湛水するのではなく間断灌水（潤土管理）を行いましょう。断続的な降雨により土壌が柔らかくなり株の支持力が弱くなっている圃場が散見されます。今後とも、土壌の支持力を高めるためにも足跡着水管理（水田についた足跡に水がたまった状態。）につとめて田面を固めましょう。

ただし、玄米の品質低下を避けるため、土壌表面を白乾までしないように。好天が続く場合は、必ず走水を行いましょう。また、台風等が接近前～通過後まで 気温が高く強風が吹く日が続く場合は、深水管理を行いましょう。収穫前の早期落水は品質低下を招くため、収穫5日前までは通水を行う。



土壌表面が白乾した状態で、強風にあうと、稲の葉や籾に裂傷が発生する。
また、籾が黒く変色している。
(過去の事例より)



クモヘリカメムシ
体長 16mm 程度

(2) その他

「病害虫発生予察7月予報（6月29日付け佐賀県農業技術防除センター発表）」では、斑点米カメムシ類の発生は「平年に比べやや多」である。必ず薬剤防除を実施する。
薬剤防除は、乳熟期（穂先がちょっと傾いたころ：穂揃期の約10日後）の時期となります。
20回すくいとり調査で斑点米カメムシが5頭以上の多発生時は、穂揃期と乳熟期の2回防除となります。
ただし、セタコシヒカリは特別栽培認証制度に応じた栽培法を実施しているため、農薬散布にあたって農薬成分回数9成分を超えないように注意しましょう。また、生産管理責任者であるJA等指導機関に併せてご相談ください。

管内における斑点米カメムシの20回すくいとり調査(6月29日)

地区	クモヘリカメムシ		ホソハリカメムシ		ミナミアオカメムシ		アカスジカスミカメ		シラホシカメムシ		出穂期
	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	
須古(情報田)	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	6月29日
須古(GE周辺)	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	6月28日
竜王(坂田)	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	6月30日
干拓(新明)	0	0	0	2	0	0	0	5	0	0	6月28日
須古(畦畔)	12	14	0	0	1	0	4	3	0	0	-
干拓(畦畔)	0	0	0	0	0	0	15	35	0	0	-

※畦畔の調査は、エノコログサ等に生息している斑点米カメムシをすくい取り(20回)しました。

2) 普通期水稻

- ・一般的に麦わら等の施用によるガス発生、連続降雨による流れ葉、スクミリンゴガイの食害により分けつ抑制が散見される。

(1) 「夢しずく」

- ・水管理は、6月下旬の連続降雨により常時湛水した圃場ではガス(湧き)の発生が目立っています。前作の残さや、麦わらが多い水田では、今後ガス(湧き)と還元(酸素不足)が進むことが予想されます。ガス(湧き)がみられれば風のない穏やかな日に時々落水しましょう。特に、足を踏み入れずに自然に気泡が出るようであれば直ちに落水する。(下記表参照)

表 ガス(湧き)発生程度及び対策

湧きの程度	様相とガス程度水稻への影響	水稻への影響	ガス対策(7月上旬以降)
稀	足を踏み込んでも気泡なし	なし	必要なし
少	足を踏み込むとわずかに気泡が見られる	なし	必要なし
中	足を踏み込むと気泡の発生が多い	根の活力低下	落水後に用水更新
多	足を踏み込むと盛んに気泡を発生	根張り不良	落水後に用水更新を繰り返し
甚	晴天時自然に気泡発生する(ばちばちと音が聞こえる。)水田歩くと著しく気泡発生。	根伸長阻害、黄化	中耕と用水更新を繰り返し 回復後には、間断灌水(本格的夜干)

- ・夢しずくの「中干し」は、移植30~35日頃、または草丈45~55cmの間が目安である。(茎数の多少はあるが、この時期以降の分けつ茎は穂にならないため。)
- ・夢しずくの葉色は、移植後30日がピ-クであるのが理想である。葉色低下が遅れる場合は強い中干しが必要である。
- ・本年は暖冬の影響を受け、スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の発生が多いため、特に深水にならない様に注意しましょう。また、集中豪雨による圃場の冠水がありますが、クリーク水が圃場へ流入したり深水状態が続くとスクミリンゴガイの被害が拡大する恐れがあるため、用排水の管理をきめ細かく実施するとともに、食害が多い場合はメタアルデヒド剤等で防除しましょう。
- ・雑草防除は、降雨により除草剤の効果の振れが大きいので、圃場ごとの雑草発生状況を確認して、処理時期を逸しないようにする。本年は、代掻き作業後の降雨により、田植え作業が計画より遅れて実施している圃場も多い。そのため、除草剤処理までの期間があいたため、雑草が早めに発生し、除草剤の効果が発揮できていない圃場も散見される。特に近年問題になっている「ホタルイ」の発生を確認した場合、中後期除草剤の対応を検討する。

(2) 「さがびより」

- ・水管理は「夢しずく」参照。

(3) 病害虫の発生状況

- ・普通期水稻では、苗いもちの発生を確認している。
- ・海外飛来成虫は、梅雨前線による飛来を現地でも確認している。現時点での防除は必要ありません。

- ・7月の病害虫予察情報（6月29日付け佐賀県農業技術防除センター発表）によると主要病害虫の発生量は以下のとおり。

作物名	病害虫名	平年比	前年比
水稲 （早期）	穂いもち	並	並
	紋枯病	やや多	やや多
	斑点米カメムシ類	やや多	並
水稲 （普通期）	葉いもち	やや多	やや多
	トビイロウンカ	並	並
	セジロウンカ	並	並
	コブノメイガ	並	並

海外飛来性病害虫 誘殺状況

	セジロウンカ						トビイロウンカ						コブノメイガ			
	長崎県			佐賀県			長崎県			佐賀県			長崎県		佐賀県	
	諫早	佐世保	佐賀市	佐賀市	嬉野	諫早	佐世保	佐賀市	佐賀市	嬉野	諫早	佐賀市	白石	武雄		
	ライト	ネット	ライト	ネット	ライト	ライト	ネット	ライト	ネット	ライト	ライト	ライト	ネット	ライト		
6/1	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	-		
6/2	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	-	0	0
6/3	3	0		0	0	2	0	0		0	0	0	0	-		
6/4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
6/5	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0
6/6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
6/7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
6/8	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	-		
6/9	0	0	0	0	欠測	0	0	0	0	0	欠測	0	1	0	0	0
6/10	0	0	0	3	欠測	1	0	0	0	0	欠測	0	2	0		
6/11	20	0	0	2	欠測	17	1	0	0	0	欠測	11	52	0		
6/12	30	0	0	14	欠測	6	2	0	0	0	欠測	0	13	0	0	0
6/13	1	0	0	6	欠測	2	0	0	0	0	欠測	0	19	0		
6/14	12	1	0	1	欠測	1	1	0	0	0	欠測	0	13	0		
6/15	16	0	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	41	1		
6/16	1	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	32	0	0	7
6/17	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	31	1		
6/18	2	0	40	6	0	3	0	0	0	0	0	0	16	1		
6/19	0	0	61	3	0	2	0	0	0	0	0	0	24	0	0	5
6/20	0	1	65		0	0	0	0	0		0	0	26	0		
6/21	1	0	19			1	0	0	0			0	14	2		
6/22	3	1	6			0	0	0	1			0	12	0		
6/23	2	1	4				0	0	0				14			
6/24	0	3					0	0					1			
6/25	0	1					0	0					14			
6/26	31	1					0	0					5			
6/27	18	1					6	0					7			
6/28	7	0					1	1					25			
6/29	5	6					0	1					21			
6/30	2	1					4	0					32			

4. 台風・大雨対策

台風対策は、水稲の生育ステージによって異なりますが、本田移植後（活着期以降）は、強風による水稲の茎葉の水分収奪や損傷を防止するため、必ず深水管理を行いましょう。併せて、台風通過後は、新しい水と入れ替え、こまめな間断灌水や浅水管理を行って根の機能回復に努めるようにしてください。